

ニバーレ菌対策を強化した秋まき小麦の赤かび病防除

道総研 北見農業試験場 研究部 生産環境グループ
道総研 十勝農業試験場 研究部 生産環境グループ

1. 成果の概要

Microdochium nivale（ニバーレ菌）は、小麦の生育期全般に感染する病原菌で、赤かび病、紅色雪腐病および葉枯症状を引き起こします。

- （1）ニバーレ菌による葉枯症状の発生要因を明らかにしました。
- （2）ニバーレ菌に対する有効薬剤を明らかにしました。
- （3）ニバーレ菌の多発に対応した赤かび病防除対策を提案します。

2. 成果内容

葉枯症状の発生要因として、

- 主な感染時期は開花期間中です（穂の感染時期と同じ）。
- 極端な過繁茂により助長されます。
- 紅色雪腐病発生量の影響は小さいです。
- 品種間差は判然としません。
- 葉枯症状が早期に多発すると減収しますが、減収に対しては穂の発病（赤かび病）のほうが大きく影響します。
- 防除により、穂の発病が抑えられれば、葉枯症状も抑制されます。

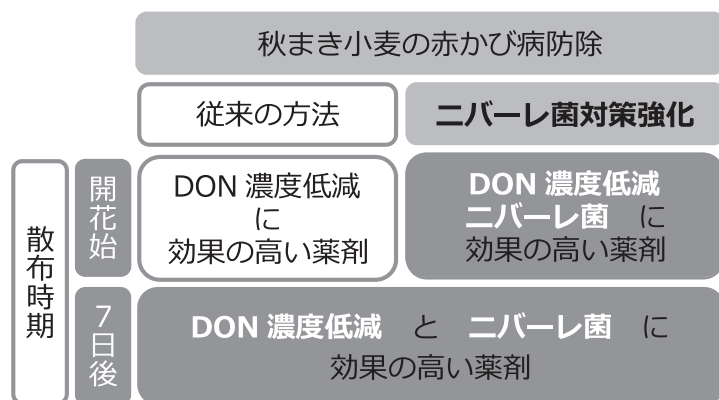


図1 ニバーレ菌対策を強化した秋まき小麦の赤かび病防除